

VIII 自然公園の利用のあり方と管理方針

<主要施策の取組状況>

1 登山道等の施設維持管理と協働実施

- ・登山道施設の状況を把握した上で、5路線（大倉尾根線、丹沢主稜線、雨山峠秦野峠線、唐沢黒岩線、順礼峠のみち）について登山道整備を実施した。
- ・みろく山の会（大倉尾根線）、丹沢山小屋組合（二俣鍋割線・鍋割山稜線）と協働による登山道補修を実施した。また、丹沢ボラネットによる登山者数調査、水場の水質調査を継続実施した。
- ・烏尾山山頂の環境配慮型公衆便所の設置費に対し補助するとともに、「丹沢発 山のトイレを考えようプロジェクト」を立ち上げ、トイレ紙持ち帰りキャンペーンとして、大倉バス停前等において、トイレマナーのチラシ配布やパネルによる説明等を実施した。

2 かながわパークレンジャーや神奈川県自然公園指導員による活動

- ・パークレンジャー3名による巡視活動の実施を行うとともに、自然公園指導員による巡視活動及び登山道補修隊による活動を実施した。

3 神奈川県立ビジターセンター等普及啓発施設の活動

- ・ビジターセンターにおいて、自然再生等に関する展示や自然教室等を実施した（ビジターセンターの維持管理を委託）。

4 自然公園における利用のあり方と管理方針

- ・自然環境保全センター内にワーキンググループを設置し、自然公園の利用のあり方等について検討を行った。

○登山道施設維持管理等実施状況（平成24年度）

登山道整備	団体との協働による補修
5路線	2団体と協働で3路線について補修活動実施



登山道整備状況（丹沢主稜線）：施工前



登山道整備状況（丹沢主稜線）：施工後



協働による登山道補修状況（菩提峠ヤビツ峠線）：施工前



協働による登山道補修状況（菩提峠ヤビツ峠線）：施工後



トイレ紙持ち帰りキャンペーン（大倉）

○自然公園の利用のあり方と管理方針に関する事業実施場所（位置情報のある事業のみ掲載）

